

## 「じゃらん宿泊旅行調査 2018」



- 2017年度の宿泊旅行実施率は55.6%、前年度より持ち直す
- 旅行費用は増加に転じ、宿泊旅行の費用総額は前年度比6.3%増の7兆5,352億円
- 都道府県別延べ宿泊旅行者数は東京都、北海道に次いで大阪府が3位に

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」（センター長：沢登 次彦）は、この度、全国1万5,627人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査 2018」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2017年度（2017年4月～2018年3月）における国内宿泊旅行の行き先や回数、旅行費用などを調査し、今年で14回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

### TOPICS

#### 【延べ宿泊旅行者数推計】 . . . . . P3

- 2017年度（2017年4月～2018年3月）の宿泊旅行実施率は55.6%、前年度（54.8%）から持ち直した形
- 宿泊旅行実施者の年間の平均旅行回数は2.78回、平均宿泊数は1.76泊と前年度並み
- 延べ宿泊旅行者数は1億4,556万人、延べ宿泊数は2億5,646万人泊で、いずれも前年度比微増

#### 【宿泊旅行の費用総額】 . . . . . P4

- 宿泊旅行にかけられた費用総額は7兆5,352億円。前年度比で6.3%増
- 1回（大人1人あたり）の宿泊旅行にかかった費用は前年度より増加。交通費、宿泊費、パック費いずれも上昇

#### 【同行形態】 . . . . . P5

- もっとも割合が高いのは「夫婦二人での旅行」（25.7%）で、増加基調で推移
- 「一人旅」は前年度と同率の17.2%。35～49歳男性では「一人旅」が増加

#### 【都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減】 . . . . . P6

- 延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位は北海道で前年度と変わらず。3位に大阪府が躍進
- 延べ宿泊旅行者数の増加率は沖縄県がトップ、前年度より91万人の増加

#### 【テーマ別・都道府県魅力度ランキング】 . . . . . P8-9

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	石川県	2位	高知県	3位	北海道
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	北海道	3位	石川県
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	栃木県
▶ 地元の人のホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	高知県	3位	青森県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	沖縄県	2位	千葉県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	沖縄県	2位	千葉県	3位	京都府
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	北海道

【本件に関するお問い合わせ先】  
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

## 調査概要

◎調査名 じゃらん宿泊旅行調査2018

◎調査方法 インターネットによる調査

### ■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2018年4月1日(日)～12日(木)
- ③調査対象 全国20～79歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④配信数 52万3001件
- ⑤調査内容 2017年度(2017年4月～2018年3月)1年間の国内宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)実態
- ⑥回収数 8万件(回収率15.3%)
- ⑦1次調査 集計対象者数 2万件
  - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
  - ・配信数と割付について  
2次調査のセル別目標回収数は、「平成27年 国勢調査」の都道府県別・性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した  
ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万5400件の回収を目標とした
  - ・2次調査の配信数は、ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者4万4711件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
  - ※回収された8万件のうち都道府県別・性・年代別に割付を行い2万件を抽出。  
性・年代別宿泊旅行実施率を算出
- ◎2次調査対象件数 4万4361件

### ■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2018年4月6日(金)～20日(金)
- ③調査対象 4万4711件(うち、同居家族モニター350件)
  - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人:4万4361件
  - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人:350件
  - ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した  
追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した  
(回収数1万件<配信数6万9165件 回収率14.5%>、2次調査対象者数350件)
- ④配信数 3万1737件(うち、同居家族モニター124件)
  - ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付にあわせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施したすべての宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5680件(回収率49.4%)
- ⑦有効回答数 1万5627件(うち、同居家族モニター91件、旅行件数ベース3万793件)

#### ※集計・分析手法について

はじめに平成29年10月1日現在人口推計(総務省統計局発表)および1次調査結果を用い、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している

また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した

## 宿泊旅行実施率は55.6%、前年度（54.8%）より改善、下げ止まる 年間平均旅行回数、平均宿泊数いずれも前年度並み 20～34歳の男性で宿泊旅行実施率が改善、51.7%→54.8%に

2017年度の1年間に宿泊旅行（※1）を行った人の割合は55.6%で、前年度より持ち直した。実施者における年間平均旅行回数は2.78回、宿泊旅行1回あたりの平均宿泊数は1.76泊といずれも前年度と同程度。延べ宿泊旅行者数（※2）は1億4,556万人回となり前年度1.4%増、延べ宿泊数（※3）は2億5,646万人泊で、前年度比1.3%増と推計された。宿泊旅行実施率は男性20～34歳で3.1pt回復し54.8%となった。

- ※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
- ※2 延べ宿泊旅行者数・・・推計人口×宿泊旅行実施率×宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
- ※3 延べ宿泊数（人泊）・・・延べ宿泊旅行者数×宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数
- ※4 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出。よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊者数（斜体の部分）は直接は比較できない参考値

### ■ 延べ宿泊旅行者数の推計方法（※4）

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っている

	H29年10月1日 現在人口推計	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) <B>	宿泊旅行 実施者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行 実施者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人×回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万人泊) A*B*C*D
(2017年度)全国20～79歳男女	9,438	55.6	2.78	1.76	5,244	14,556	25,646
	前年との差→	0.8	0.01	前年との差→	56	198	338
				前年比→	1.1%	1.4%	1.3%
(2016年度)全国20～79歳男女	9,475	54.8	2.77	1.76	5,188	14,358	25,308
(2015年度)全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903
(2014年度)全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397
(2013年度)全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972
(2012年度)全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445
(2011年度)全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987
(2010年度)全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686
(2009年度)全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778
(2008年度)全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235
(2007年度)全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604
(2006年度)全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
(2005年度)全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
(2004年度)全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024

※人口について、次の統計値を用いて調査を行っています。

2015年度：H27年国勢調査<速報>	2014年度：H26年10月1日現在人口推計	2017年度：H29年10月1日現在人口推計	2016年度：H28年10月1日現在人口推計
2011年度：H23年10月1日現在人口推計	2010年度：H22年国勢調査<速報>	2013年度：H25年10月1日現在人口推計	2012年度：H24年10月1日現在人口推計
2007年度：H19年10月1日現在人口推計	2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口	2009年度：H21年10月1日現在人口推計	2008年度：H20年10月1日現在人口推計
		2005年度：H16年10月1日現在人口推計	2004年度：H15年10月1日現在人口推計

### ■ 性・年代別宿泊旅行実施率の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
全国20～79歳男女	65.4	66.1	64.7	63.8	63.1	60.3	56.7	57.6	55.8	57.5	56.9	56.4	54.8	55.6
20～34歳 / 男性	62.5	61.4	61.0	61.8	60.6	57.0	53.2	57.2	52.8	51.3	54.1	53.8	51.7	54.8
20～34歳 / 女性	68.0	66.7	67.1	66.3	66.8	65.0	61.3	64.0	62.3	64.0	64.3	61.9	60.3	60.5
35～49歳 / 男性	61.9	62.2	60.4	60.1	59.6	56.9	53.6	53.0	51.8	53.1	53.7	53.4	52.0	53.3
35～49歳 / 女性	62.6	64.8	61.5	58.9	58.7	57.8	53.6	55.9	53.7	56.3	55.3	54.8	53.8	55.5
50～79歳 / 男性	63.8	67.4	64.8	64.7	63.2	59.9	55.1	55.9	54.4	57.6	56.2	55.6	55.0	54.7
50～79歳 / 女性	70.3	69.7	69.2	67.3	66.5	63.1	61.2	60.2	59.0	60.3	58.5	58.6	55.6	56.1

### ■ 性・年代別延べ宿泊旅行者数の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
全国20～79歳男女	17,343	17,875	17,366	17,514	17,355	16,239	15,020	14,686	14,505	15,599	15,110	15,313	14,358	14,556
20～34歳 / 男性	2,219	2,201	2,036	2,075	1,975	1,879	1,612	1,608	1,450	1,537	1,553	1,545	1,434	1,564
20～34歳 / 女性	2,319	2,284	2,214	2,102	2,074	1,876	1,802	1,705	1,648	1,779	1,691	1,627	1,543	1,573
35～49歳 / 男性	2,045	2,175	1,833	2,106	2,084	2,069	1,888	1,902	1,864	2,038	2,028	2,128	1,984	1,959
35～49歳 / 女性	1,963	2,017	1,847	1,900	1,856	1,841	1,777	1,711	1,669	1,851	1,776	1,823	1,771	1,702
50～79歳 / 男性	3,959	4,472	4,424	4,310	4,414	3,946	3,578	3,601	3,543	3,941	3,795	3,889	3,772	3,812
50～79歳 / 女性	4,837	4,726	5,013	5,022	4,952	4,628	4,362	4,158	4,331	4,453	4,266	4,301	3,855	3,946

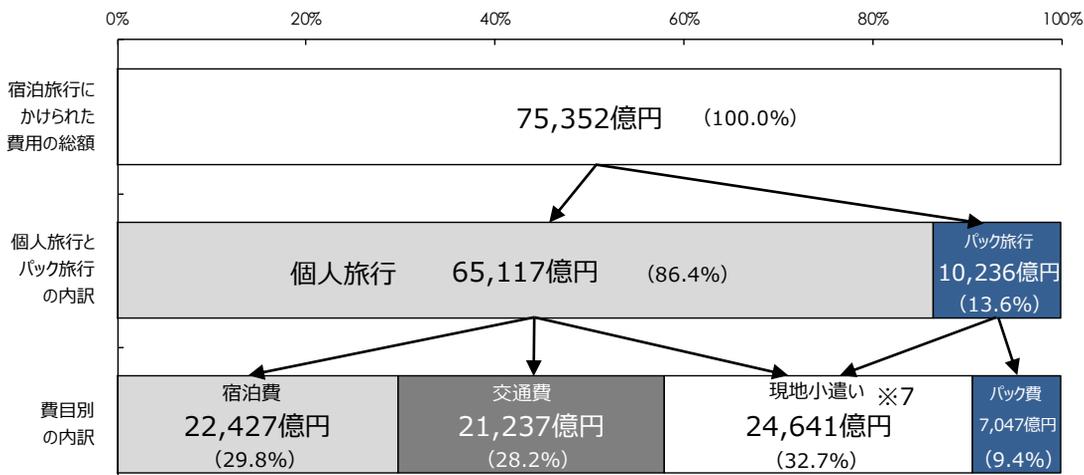
# TOPIC 宿泊旅行の費用総額

## 宿泊旅行にかけられた費用総額は7兆5,352億円、前年度比で6.3%増 宿泊費、交通費、いずれにおいても単価は増加傾向

1回あたりの宿泊旅行費用（※5）は、平均で前年度4万9,300円から2,300円増加し、5万1,600円。個人旅行（※6）、パック旅行いずれの内訳においても前年度を上回る結果となった。総額では推計7兆5,352億円となり、前年度を6.3%上回る結果となった。

- ※5 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計。パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地小遣いの合計  
20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている
- ※6 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む

### ■ 宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



※7 現地小遣い・・・旅行先での飲食・買い物、遊興費、目的エリア内での移動費用を含む

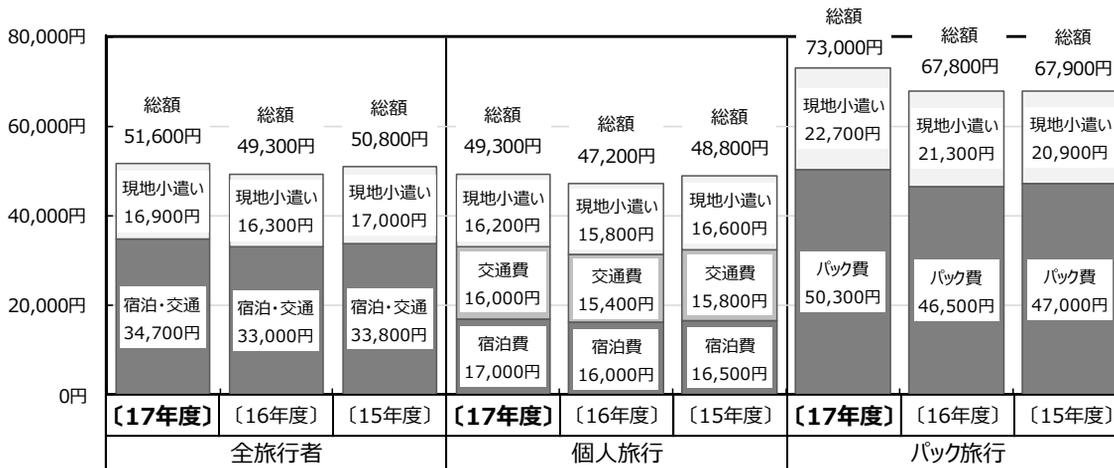
〈参考〉

04-17年度比較(推計値)

宿泊旅行にかけられた費用の総額 (億円)	前年度比
17年度	75,352 ▲6.3%
16年度	70,878 ▲9.0%
15年度	77,891 4.4%
14年度	74,574 2.0%
13年度	73,120 5.5%
12年度	69,299 1.1%
11年度	68,562 ▲2.7%
10年度	70,477 ▲8.5%
09年度	76,984 ▲12.6%
08年度	88,076 1.5%
07年度	86,781 0.7%
06年度	86,180 ▲1.9%
05年度	87,889 0.1%
04年度	87,835 -

### ■ 1回の宿泊旅行にかかった費用 (大人1人あたり)

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある



〈参考〉 04-17年度比較

1回の宿泊旅行にかかった費用 (円)	大人1人あたり	前年度比
17年度	51,600	4.7%
16年度	49,300	▲3.0%
15年度	50,800	3.3%
14年度	49,200	5.1%
13年度	46,800	▲1.7%
12年度	47,600	2.1%
11年度	46,600	▲0.6%
10年度	46,900	▲0.8%
09年度	47,300	▲6.5%
08年度	50,600	2.2%
07年度	49,500	0.0%
06年度	49,500	0.6%
05年度	49,200	▲2.8%
04年度	50,600	-

#### 〈全国の宿泊旅行費用総額の推計方法〉

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法（個人orパック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

#### 〈参考〉 宿泊旅行の手配方法

※個人旅行：「自分たちで宿を手配」と「旅行会社を通して宿を手配」と回答した人を合わせた割合

※ベース：宿泊旅行件数

※ パック旅行：「旅行会社のパックを利用して行く旅行」の割合



もっとも多くを占めるのは「夫婦二人での旅行」、調査開始以来、増加基調  
「一人旅」は前年と同率だが、35～49歳男性で増加に転じる

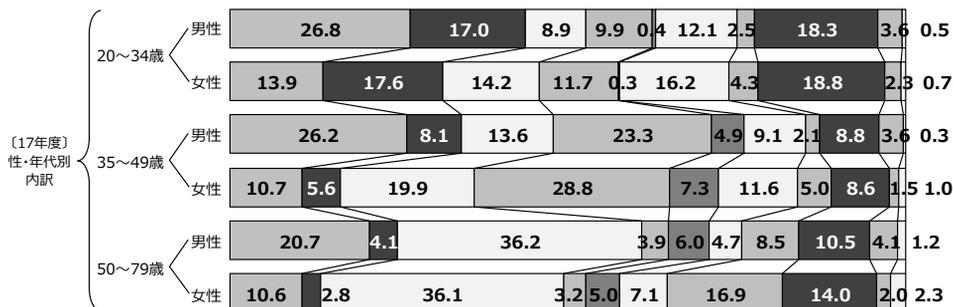
もっとも割合が高いのは「夫婦二人での旅行」で25.7%。次いで「一人旅」が17.2%と続く。「夫婦二人での旅行」は調査開始以来増加基調で推移している。「一人旅」は前年度と同率。性・年代別に見ると、20～34歳男性での増加傾向が止まる一方、35～49歳男性の構成比は増加に転じている。

■ 宿泊旅行の同行形態（単一回答）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない

	一人旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	小学生以下の子連れ家族旅行	中学生以上の子連れ家族旅行	親連れ家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	職場やサークルなど団体旅行	その他
〔17年度〕 全体	17.2	7.3	25.7	11.1	4.5	8.9	8.4	12.7	2.9	1.2
〔16年度〕 全体	17.2	7.0	25.5	11.8	4.3	8.5	8.3	13.1	3.2	1.2
〔15年度〕 全体	17.5	7.0	25.3	11.2	4.2	8.5	8.4	13.2	3.3	1.4
〔14年度〕 全体	15.9	7.3	24.5	11.9	4.2	8.2	8.9	13.9	3.8	1.4
〔13年度〕 全体	15.4	7.0	24.8	11.7	4.3	8.4	9.1	13.8	3.8	1.7
〔12年度〕 全体	14.5	7.2	24.1	12.7	4.3	7.9	9.2	13.8	4.4	1.8
〔11年度〕 全体	14.1	7.4	24.5	12.6	4.0	8.0	8.8	14.3	4.5	1.9
〔10年度〕 全体	13.1	7.2	24.4	12.8	3.9	7.8	9.0	15.3	4.7	1.8
〔09年度〕 全体	12.9	7.4	24.3	12.4	3.7	7.7	9.3	15.2	5.2	2.0
〔08年度〕 全体	12.5	7.4	24.2	12.0	3.6	7.6	9.3	15.3	5.8	2.2
〔07年度〕 全体	12.0	7.3	23.8	12.4	3.7	7.2	9.3	15.9	6.1	2.2
〔06年度〕 全体	11.2	7.7	24.0	12.8	3.5	7.1	9.5	16.4	5.7	2.2
〔05年度〕 全体	10.8	7.7	23.6	13.5	3.7	7.0	9.5	15.6	6.4	2.1
〔04年度〕 全体	10.5	8.1	22.4	14.6	4.3	7.3	8.6	15.3	5.8	3.0



■ 「一人旅」 構成比の推移 <ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

(%)

性・年代別	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
20～34歳 男性	14.9	17.7	19.5	20.3	20.1	21.6	20.9	23.3	23.2	26.1	26.9	28.8	29.1	26.8
20～34歳 女性	7.2	8.2	8.7	8.6	9.2	10.3	10.0	10.7	10.2	11.6	12.6	14.3	12.6	13.9
35～49歳 男性	12.3	13.7	13.9	15.2	15.7	16.7	18.4	18.5	20.9	21.9	23.0	24.8	24.2	26.2
35～49歳 女性	5.8	6.7	6.7	7.3	7.7	7.4	9.4	8.2	8.0	9.7	10.1	11.7	11.3	10.7
50～79歳 男性	13.6	12.5	12.2	13.1	14.6	14.1	14.1	17.4	16.9	17.7	18.3	19.2	20.1	20.7
50～79歳 女性	8.9	8.1	8.8	9.5	9.6	10.3	9.8	9.9	11.3	11.0	10.4	12.3	11.4	10.6

延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位北海道  
大阪府が前年度5位から2ランクアップして3位に  
延べ宿泊旅行者数の増加率トップは沖縄県、前年度比で20.3%上昇

「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」のトップ3の顔ぶれは、1位の東京都、2位の北海道に続いて3位に大阪府が2ランクアップした。上位10都道府県の延べ宿泊旅行者数そのものは、8位の千葉県を除く9都道府県で上昇している。9位の沖縄県は前年11位からベスト10入り。「延べ宿泊旅行者数」の増加率1位は沖縄県で20.3%と大幅増。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも、宿泊を伴う旅行であれば含める  
※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしている  
※1人あたり1年間に行ったすべての旅行回数を尋ねた結果から推計している

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値） ※上位10都道府県

全体						増減傾向				
2017年度 推計値		順位変動	2016年度 推計値	2015年度 推計値	2014年度推計値	2013年度推計値	17←16	16←15	15←14	14←13
全国	14,556万人		14,358万人	15,313万人	15,110万人	15,599万人	+	-	+	-
1位 東京都	1,541万人	←	(1位 1,527万人)	(1位 1,675万人)	1,702万人	1,720万人	+	-	-	-
2位 北海道	1,066万人	←	(2位 988万人)	(2位 1,069万人)	1,064万人	1,027万人	+	-	+	+
3位 大阪府	775万人	↑	(5位 697万人)	(4位 776万人)	749万人	769万人	+	-	+	-
4位 静岡県	773万人	↓	(3位 723万人)	(5位 748万人)	770万人	831万人	+	-	-	-
5位 神奈川県	710万人	↓	(4位 708万人)	(6位 727万人)	768万人	832万人	+	-	-	-
6位 長野県	702万人	←	(6位 671万人)	(3位 809万人)	720万人	773万人	+	-	+	-
7位 京都府	637万人	←	(7位 618万人)	(7位 625万人)	704万人	691万人	+	-	-	+
8位 千葉県	553万人	←	(8位 564万人)	(8位 622万人)	598万人	662万人	-	-	+	-
9位 沖縄県	540万人	↑	(11位 449万人)	(12位 449万人)	515万人	496万人	+	=	-	+
10位 福岡県	503万人	←	(10位 480万人)	(10位 507万人)	517万人	499万人	+	-	-	+

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者増加率・増加数（2017年度-2016年度推計値）

※増加率上位10都道府県

全体		
2017年度←16年度	増加率	増加数
1位 沖縄県	20.3%	91万人
2位 奈良県	19.7%	19万人
3位 福島県	12.2%	32万人
4位 大阪府	11.2%	78万人
5位 三重県	9.5%	29万人
6位 北海道	7.9%	78万人
7位 広島県	7.8%	24万人
8位 青森県	7.1%	11万人
9位 静岡県	6.8%	49万人
10位 滋賀県	5.8%	9万人

【参考】ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減（2017年度-2016年度推計値）

単位(万人)	旅行先ブロック	北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック
		17年度	1,066	1,269	3,795	1,856	1,742	2,378	1,433	1,621
16年度	988	1,230	3,790	1,905	1,725	2,281	1,428	1,691	449	
15年度	1,069	1,395	4,001	2,083	1,760	2,492	1,535	1,789	449	
17-16年度増減	78	39	5	-49	18	97	4	-69	91	
居住地ブロック	北海道ブロック	33	-6	-16	-6	0	-2	-6	-12	0
	東北ブロック	-4	-44	-39	-6	5	-13	12	-2	0
	関東ブロック	20	62	17	25	-14	80	38	-18	62
	甲信越・北陸ブロック	-6	-9	-10	-6	-9	-31	0	-9	5
	東海ブロック	9	15	38	-8	11	36	6	4	15
	関西ブロック	30	23	27	-50	14	21	-46	16	3
	中四国ブロック	1	2	-25	6	7	2	-3	-10	3
	九州ブロック	0	-3	7	-5	3	9	5	-37	1
	沖縄ブロック	-4	0	6	2	0	-5	-3	-1	2

※全体増減/-100万人以上：網掛け白文字、+100万人以上：網掛け黒文字 ※ブロック別増減/-30万人以上：網掛け白文字、+30万人以上：網掛け黒文字

# 《選んだ理由別 都道府県ランキング》

国内旅行をした人になぜその旅行先を選んだかを聞き、理由別にランキングを作成した。

- 特定のイベントやアクティビティに興味・・・1位：沖縄県
- テレビや雑誌などで話題・・・1位：北海道
- 特定の観光地・スポットに興味・・・1位：島根県
- 食・特産品に興味・・・1位：高知県
- 良い宿・ホテル・・・1位：大分県
- 魅力的な温泉・・・1位：大分県

「テレビや雑誌などで話題」は前年度6位の北海道が5ランクアップで1位に。  
「食・特産品」においては、高知県が2年連続で1位を獲得。

## ■ 特定のイベントやアクティビティに興味があったから

(単位：%)

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	31.7	全体平均	30.7
1位 沖縄県	46.3	1位 千葉県	44.3
2位 千葉県	41.4	1位 沖縄県	44.3
2位 徳島県	41.4	3位 大阪府	41.2
4位 大阪府	40.1	4位 長崎県	40.4
5位 福岡県	39.5	5位 北海道	35.9
6位 長崎県	38.8	6位 東京都	35.4
7位 北海道	37.5	7位 福岡県	35.1
8位 東京都	36.9	8位 新潟県	33.1
9位 青森県	36.2	9位 埼玉県	33.0
10位 秋田県	35.5	10位 宮崎県	32.6

## ■ テレビや雑誌などで話題になっていたから

(単位：%)

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	21.4	全体平均	21.4
1位 北海道	29.5	1位 石川県	32.5
2位 長崎県	28.6	2位 長崎県	31.6
3位 石川県	28.4	3位 大分県	29.8
4位 沖縄県	26.7	4位 京都府	28.5
4位 京都府	26.7	5位 千葉県	28.3
6位 島根県	26.3	6位 沖縄県	27.9
7位 鹿児島県	25.6	6位 北海道	27.9
8位 愛媛県	25.5	8位 島根県	27.8
9位 広島県	25.4	9位 三重県	26.3
10位 大分県	24.9	10位 富山県	26.2
10位 三重県	24.9		

## ■ 特定の観光地・観光スポットに興味があったから

(単位：%)

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	63.9	全体平均	63.1
1位 島根県	82.7	1位 奈良県	81.4
2位 長崎県	81.1	2位 島根県	80.5
3位 奈良県	81.0	3位 長崎県	79.4
4位 三重県	78.8	4位 沖縄県	78.6
5位 京都府	76.8	5位 京都府	78.1
6位 広島県	76.7	6位 徳島県	77.0
7位 青森県	76.6	7位 愛媛県	76.2
8位 沖縄県	76.1	8位 石川県	73.0
9位 和歌山県	74.0	9位 和歌山県	72.2
10位 愛媛県	72.6	10位 三重県	71.9

## ■ そこならではの食・特産品に興味があったから

(単位：%)

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	42.4	全体平均	41.6
1位 高知県	60.7	1位 高知県	62.9
2位 北海道	60.3	2位 沖縄県	59.8
3位 沖縄県	59.5	3位 北海道	59.4
4位 香川県	57.3	4位 香川県	58.4
5位 石川県	57.1	5位 石川県	57.4
6位 広島県	52.8	6位 広島県	53.0
7位 京都府	52.3	7位 富山県	52.8
8位 熊本県	51.9	8位 福井県	49.8
9位 鹿児島県	50.9	9位 京都府	49.5
10位 福井県	50.2	10位 鹿児島県	49.3

## ■ 良い宿・ホテルがあったから

(単位：%)

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	49.8	全体平均	48.6
1位 大分県	65.4	1位 大分県	67.9
2位 栃木県	63.2	2位 栃木県	63.7
3位 静岡県	63.0	3位 静岡県	61.6
4位 群馬県	61.6	4位 群馬県	59.2
5位 福島県	59.0	5位 熊本県	58.5
5位 和歌山県	59.0	6位 和歌山県	57.7
7位 神奈川県	56.4	7位 山形県	56.3
8位 岩手県	56.2	7位 兵庫県	56.3
9位 長野県	55.7	9位 福島県	56.1
10位 三重県	55.1	10位 神奈川県	55.9

## ■ 魅力的な温泉があったから

(単位：%)

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	34.8	全体平均	34.2
1位 大分県	75.0	1位 大分県	77.4
2位 群馬県	71.6	2位 群馬県	65.8
3位 愛媛県	63.4	3位 山形県	61.1
4位 山形県	62.0	4位 熊本県	60.0
5位 和歌山県	61.4	5位 愛媛県	59.4
6位 栃木県	59.7	6位 岐阜県	58.9
7位 鳥取県	59.2	7位 栃木県	58.1
8位 岐阜県	55.6	8位 鳥取県	55.2
9位 鹿児島県	54.6	9位 和歌山県	54.6
10位 福島県	54.1	10位 福島県	54.1

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先を選んだ理由を「当てはまる」「やや当てはまる」「どちらともいえない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の5段階から選択

②「当てはまる」「やや当てはまる」の割合が多い順にランキング

(単位：%)

■ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった

- 1位：石川県、2位：高知県、3位：北海道

石川県が1位に振り返り。2位の高知県は前年より5.8pt減少。青森県、熊本県、三重県がベスト10入り。

前年度2位の石川県が高知県をかわして1位に。6位の青森県、8位の熊本県、10位の三重県が新たにランクイン。青森県は「ホタテ」「りんご」「海産物」「マグロ」など、熊本県は「馬刺し」が人気。三重県は「伊勢海老」「海鮮」に加えて「伊勢うどん」「松阪牛」などの名前も挙がった。

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	58.9	全体平均	59.0
1位 石川県	76.6	1位 高知県	80.8
2位 高知県	75.0	2位 石川県	78.1
3位 北海道	74.8	3位 北海道	75.9
4位 山形県	74.5	4位 沖縄県	73.7
5位 富山県	74.0	5位 福井県	72.7
6位 青森県	73.7	6位 山形県	71.4
6位 沖縄県	73.7	7位 富山県	71.0
8位 熊本県	73.4	8位 広島県	70.7
9位 香川県	71.2	9位 大分県	69.9
10位 三重県	70.5	10位 香川県	69.4

(単位：%)

■ 魅力のある特産品や土産物が多かった

- 1位：沖縄県、2位：北海道、3位：石川県

沖縄県は13年連続1位。北海道が2ランクアップで2位に。青森県、富山県、宮崎県が新たにランクイン。

1位の沖縄県は13年連続。2位に前年度4位から2ランクアップして北海道が入った。「海産物」がもっとも多いが、「お菓子」も人気。6位の青森県、7位の富山県、10位の宮崎県が新たにランクイン。青森県は「りんご」や「りんごのスイーツ」、富山県は「海産物」、宮崎県は「マンゴー」が人気。

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	48.4	全体平均	48.1
1位 沖縄県	69.1	1位 沖縄県	68.7
2位 北海道	62.1	2位 石川県	65.0
3位 石川県	62.0	3位 京都府	64.9
4位 高知県	61.8	4位 北海道	64.0
5位 京都府	61.5	5位 高知県	63.8
6位 青森県	60.4	6位 長崎県	59.3
7位 富山県	60.2	7位 鹿児島県	59.2
8位 広島県	58.6	8位 広島県	58.0
9位 長崎県	58.0	9位 愛媛県	57.3
10位 宮崎県	57.8	10位 山形県	56.0

(単位：%)

■ 魅力的な宿泊施設が多かった

- 1位：大分県、2位：沖縄県、3位：栃木県

1位の大分県は3年連続。3位の栃木県は7ランクアップ。熊本県、岩手県、群馬県が新たにランクイン。

3位にランクアップした栃木県は、鬼怒川温泉や那須温泉などの宿が挙げられ、ファミリー向けの宿も人気。6位にランクインした熊本県や9位の岩手県、10位の群馬県など新たにランクインした県も、温泉宿を挙げる人が多い。

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	43.5	全体平均	42.4
1位 大分県	63.6	1位 大分県	65.6
2位 沖縄県	56.6	2位 沖縄県	60.3
3位 栃木県	51.5	3位 岐阜県	51.9
4位 石川県	51.2	4位 山形県	51.5
5位 愛媛県	51.0	5位 北海道	50.5
6位 熊本県	50.8	6位 石川県	50.0
7位 北海道	50.3	7位 千葉県	49.5
8位 山形県	50.0	7位 和歌山県	49.5
9位 岩手県	49.9	9位 愛媛県	49.2
10位 群馬県	49.6	10位 栃木県	49.0

(単位：%)

■ 地元の人へのホスピタリティを感じた

- 1位：沖縄県、2位：高知県、3位：青森県

3位に青森県が急上昇。祭りや方言、三味線演奏などご当地体験がふれあいのきっかけに。

1位の沖縄県は、地元の人との触れあいやホテルのスタッフなどに加えて、マリンスポーツのスタッフのサービスに関する記述が多い。また、前年度圏外だった3位の青森県は、祭りや「ねぶたの家 ワ・ラッセ」、「方言」、地元の人々の三味線演奏などご当地感のある体験についてのコメントが多く見られる。

2017年度 順位		2016年度 順位	
全体平均	24.3	全体平均	24.4
1位 沖縄県	48.3	1位 沖縄県	47.4
2位 高知県	37.1	2位 鹿児島県	38.9
3位 青森県	34.9	3位 高知県	36.5
4位 岩手県	33.2	4位 山形県	33.9
5位 熊本県	32.7	5位 岩手県	32.9
6位 北海道	30.9	6位 熊本県	32.5
7位 鹿児島県	30.3	7位 福島県	31.3
8位 愛媛県	29.5	8位 京都府	30.0
9位 山形県	29.3	9位 北海道	29.7
10位 宮崎県	29.2	10位 長崎県	29.4

(単位：%)

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

1位の千葉県は13年連続。  
7位までは前年度と同じ顔触れが揃う。

8位の山梨県、9位の北海道、10位の熊本県は圏外からランクイン。  
いずれもフリーアンサーに挙げられる内容はほとんど有名テーマパークの名前であり、子どもに人気のコンテンツとなっている。

2017年度 順位	
全体平均	23.7
1位 千葉県	51.5
2位 沖縄県	40.1
3位 和歌山県	37.3
4位 長崎県	34.8
5位 大分県	32.6
6位 大阪府	32.1
7位 三重県	30.3
8位 山梨県	27.3
9位 北海道	26.6
10位 熊本県	25.2

2016年度 順位	
全体平均	23.1
1位 千葉県	52.7
2位 沖縄県	39.9
3位 和歌山県	38.6
4位 大阪府	31.7
5位 長崎県	30.9
6位 大分県	29.6
7位 三重県	27.4
8位 栃木県	26.8
9位 静岡県	25.6
10位 福井県	25.0

(単位：%)

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：沖縄県、2位：千葉県、3位：大阪府

トップ3の顔ぶれは2005年度以来変わらず。  
沖縄県が千葉県と入れ替わり1位を獲得した。

1位の沖縄県はウォーターアクティビティや離島、買い物など多様なコンテンツが挙げられた。2位の千葉県は有名テーマパークが圧倒的に多いが、観光列車や音楽フェスなどを挙げる人もいた。7位に入った福岡県は、「街がきれいで活気がある」などのコメントも。

2017年度 順位	
全体平均	26.2
1位 沖縄県	50.2
2位 千葉県	48.1
3位 大阪府	39.1
4位 長崎県	36.3
5位 東京都	31.7
6位 北海道	30.2
7位 福岡県	29.7
8位 和歌山県	29.4
9位 神奈川県	26.5
9位 三重県	26.5

2016年度 順位	
全体平均	25.1
1位 千葉県	49.9
2位 沖縄県	48.0
3位 大阪府	40.7
4位 東京都	32.1
5位 長崎県	31.0
6位 北海道	28.9
7位 和歌山県	28.7
8位 三重県	26.5
9位 神奈川県	25.6
10位 大分県	25.1

(単位：%)

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：沖縄県、2位：千葉県、3位：京都府

千葉県が京都府を抜いて2位に。6位に奈良県、9位に和歌山県、10位に愛媛県がランクイン。

2位にランクアップした千葉県は、有名テーマパークに加えて、音楽フェスや商業施設など。6位の奈良県は神社仏閣や奈良公園、町並みに関するコメントが多い。9位の和歌山県はテーマパークに関するコメントが圧倒的で、大人世代もテーマパークで楽しんでいる様子。10位の愛媛県は「道後温泉」や「松山城」などが挙げられた。

2017年度 順位	
全体平均	39.7
1位 沖縄県	54.2
2位 千葉県	51.4
3位 京都府	51.0
4位 長崎県	50.5
5位 三重県	47.5
6位 奈良県	46.7
7位 北海道	44.1
8位 大分県	43.4
9位 和歌山県	42.9
10位 愛媛県	42.7

2016年度 順位	
全体平均	38.6
1位 沖縄県	54.2
2位 京都府	52.5
3位 千葉県	52.0
4位 長崎県	47.2
5位 大阪府	45.2
6位 三重県	43.6
7位 大分県	42.0
8位 北海道	41.8
9位 島根県	41.7
10位 長野県	41.1

■ 現地で良い観光情報を入手できた

－ 1位：沖縄県、  
2位：京都府、  
3位：北海道

熊本県、青森県がトップ10入り。

駅や宿、案内所、パンフ、店のスタッフ、地元の人などに加えてインターネットが増えている。Wi-Fiが当たり前になり検索しやすいというコメントも。

(単位：%)

2017年度 順位	
全体平均	27.0
1位 沖縄県	46.6
2位 京都府	38.4
3位 北海道	36.9
4位 長崎県	34.5
5位 熊本県	34.0
6位 奈良県	33.9
7位 鹿児島県	33.1
8位 青森県	32.9
9位 高知県	31.5
10位 愛媛県	31.2

2016年度 順位	
全体平均	26.9
1位 沖縄県	46.4
2位 京都府	41.0
3位 奈良県	36.5
4位 長崎県	34.9
5位 島根県	34.2
6位 高知県	34.1
7位 北海道	33.8
8位 愛媛県	33.5
9位 富山県	32.6
9位 鹿児島県	32.6

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース  
①訪問した旅行先の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択  
②「そう思う」「ややそう思う」・計の割合が多い順にランキング

<コメントの回答方法>

「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「地元の人のホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「現地で良い観光情報を入手できた」